

ふりがな 氏 名	つばい まりこ 坪井 眞里子	職 名	教授
取得学位	AkademischGeprüfter Konzertsänger (修士)	学会での受賞歴	第3回新人音楽コンクール声楽部門第2位 (朝日新聞社主催)
主な担当科目	音楽科教育法、音楽演習Ⅰ 音楽演習Ⅱ、保育内容の理解と方法(音楽表現)Ⅱ、音楽演習		
所属学会	全日本音楽教育研究会、日本音楽教育学会、日本音楽表現学会、日本音楽教育実践学会、愛知県芸術文化協会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
音楽演習	平成 29 年 度前期	弾き歌いによる歌唱指導について、曲の良さを引き出す演奏法、歌い方についてロールプレイングを用いた方法で指導。表現豊かに話しけること、わかりやすく導入する事例を示し、園での主活動をイメージしていく指導を効果的に行った。
音楽演習Ⅰ	平成 29 年 度後期	子どもが主体的な活動を引き出す、歌唱指導、弾き歌いの仕方について、事例を想定し、それぞれのパターンを元に指導法について学生が考案。ロールプレイングをしながら、実践力を養う指導を行った。
音楽演習Ⅱ	平成 29 年 度後期	小学校での歌唱共通教材 24 曲についてそれぞれの音楽がもつ特徴や良さ、要素について解説、実践を行った。2 重唱についてアカペラで行い、曲の流れと和声感を体感できる指導を行った。
音楽科教育法	平成 29 年 度前期後期	「日本歌曲鑑賞のライブ性と音楽感受の研究に基づく授業」鑑賞と表現活動の関連性に着目し、鑑賞教材の違いによる感受について学生は実際に体験し、その違いと子どもの興味関心を表現活動への繋げる工夫について指導法を考案する授業を行った。
保育の表現技術Ⅱ(音楽) 保育の表現技術(音楽)	平成 29 年 度前期	子どもの総合的な表現活動としてオペレッタを捉え、言葉、音楽・音、身体表現、場面設定などを主体的に行う授業を行った。また全員が個性を發揮できる活動としてリズム遊びやボディーパーカッションを取り入れ、学生の主体的な活動を促し、表現力を生み出す効果を得た。
音楽演習 現場を想定した弾き歌いの実践指導	平成 30 年 度前期	弾き歌いにおいて、現場を想定し幼児に話しかける言葉・曲のテンポ・指導の順序・曲の良さを引き出す指導法について、グループ活動としてアクティブラーニングを行った。
音楽演習Ⅱ 歌唱アンサンブル・声を重ねることを実感できる活動	平成 30 年 度後期	第4学年から第6学年までの歌唱教材のアンサンブルにおいて、グループ活動での発表を録音することにより、客観的に聴く事を重視した授業を行った。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
保育の表現技術Ⅱ(音楽) 保育の表現技術(音楽) 音楽劇を有効的に学ぶ為に、実践要素を細分化して考える授業	平成 30 年度前期	保育者が子どもにみせる音楽劇を想定し、グループによるアクティブラーニングを実施し、言葉、音楽・音、身体表現、場面設定などを主体的に行う授業を行った。
音楽科教育法 鑑賞と表現活動における関連性を実感できる授業	平成 30 年度	「日本歌曲鑑賞のライブ性と音楽感受の研究に基づく授業」鑑賞と表現活動の関連性に着目し、鑑賞教材の違いによる感受について学生は実際に体験し、その違いと子どもの興味関心を表現活動への繋げる工夫について指導法を考案する授業を行った。
音楽演習Ⅱ 「歌唱アンサンブル・客観性を重視した歌唱アンサンブルの取り組み」	令和元年度後期	小学校での歌唱共通教材のアンサンブルにおいて、自らの録音を基に、「聞く」と「表現」することを関連付けた授業を行った。
保育の表現技術Ⅱ(音楽) 保育の表現技術(音楽) 「音楽劇を有効的に学ぶ為に表現を総合的に捉える授業」	令和元年度前期	保育者が子どもにみせる音楽劇を想定し、子どもがどのようなものを見かた、音の感じ方をするか、ストーリーから心の変化はどうかを想定し、表現を模索するアクティブラーニングを行った。
保育の表現技術Ⅱ(音楽) 「自作楽器で物語を奏でる」	令和元年度前期	子どもが身近な素材で制作できる、自作楽器を課題として、その音の特徴を生かして物語を音で表現する活動を考案し、実践した。創造性と子どもの視点を基調とし、グループでの考察・全体評価を行った
音楽演習 「ロールプレイングによる指導力・表現力の育成」	令和元年度前期	子どもの歌う活動の現場を想定し、歌唱表現の留意点幼児に話しかける言葉・曲のテンポ・指導の順序・曲の良さを引き出す指導法について、グループ活動としてアクティブラーニングを行った。
音楽科教育法 「日本歌曲鑑賞のライブ性と音楽感受の研究に基づく授業」	令和元年度	「日本歌曲鑑賞のライブ性と音楽感受の研究に基づく授業」鑑賞と表現活動の関連性に着目し、鑑賞教材の違いによる感受について学生は実際に体験し、その違いと子どもの興味関心を表現活動への繋げる工夫について指導法を考案する授業を行った。
音楽演習 「ロールプレイングによる指導力・表現力の育成」	令和2年度	弾き歌いについて、教育現場での実践を前提として、より表現力を高めること、また、子どもを理解した上で必要となる言葉がけについて、指導をおこなった。指導案を作成し、おためしライブで実践と相互で評価し合うことで、表現力・実践力の向上を目指した。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
音楽演習Ⅱ 「客観性を重視した歌唱の取り組み」	令和2年度	コロナ禍であるため、これまでの歌唱アンサンブルができなくなったことから、動画を用いた課題提出を利用し、その動画に基づいた評価、振り返りを学生自身が行った。客観的な視野で音程、リズム、旋律等の歌い方について、各々の課題を認識する機会となった。アンサンブルについては、距離をおいて実施し、動画での課題を認識できたことから、聴きあう姿勢、音程において効果を上げることができた。
保育内容の理解と方法(音楽表現)Ⅱ 「自作楽器を用いた、絵本の中の音表現」	令和2年度	「絵本の中の音表現」をテーマに、身近な素材で制作した自作楽器を用いて、絵本の読み聞かせを想定してお話をしながら音を表現する授業を行った。コロナ禍であることから最終発表はレポート形式となったが、絵本の世界を多面的に表現する機会となった。
音楽科教育法 「日本音楽教育の歴史について 講義とYouTubeを用いた企画展巡覧」	令和2年度	日本の音楽教育の歴史について、対面の講義で行ったのちに、当時の教科書、授業風景をテーマにした企画展をオンデマンドで視聴する授業を行った。企画展紹介の中で、唱歌を演奏した様子も取り入れることにより、理解を深めることができる授業となった。講義、動画視聴の後に行った感想提出では、オンデマンド授業が効果的であったことが読み取れた。
音楽科教育法 「体感する音楽」を基調としたアクティブラーニング	令和3年度	年間を通して、音楽を体感することをテーマに、授業内でのアクティブラーニングを行った。鑑賞教材、歌唱共通教材を用いて、模擬授業の中でリズム、強さ、テンポ、拍感、フレーズ等音楽の要素を体感する授業を展開した。
音楽演習 「創作音楽劇作成 アクティブラーニング」	令和3年度	生活発表会を想定し、保育現場で行える創作音楽劇作成のアクティブラーニングを行った。子どもの発想を大切にすること、子ども目線にたった音や音楽を取り入れることを必須要件とし、対象年齢、子どもに伝えたいテーマをそれぞれのグループで設定した。各グループも積極的に参加し、充実した内容となった。
保育内容の理解と方法(音楽表現)Ⅱ 「自作楽器を用いた、絵本の中の音表現」 「お気に入りの音をみつけよう」	令和3年度	「絵本の中の音表現」をテーマに、身近な素材で制作した自作楽器を用いて、絵本の読み聞かせを想定してお話をしながら音を表現する授業を行った。絵本の世界を多面的に表現する機会となった。 「お気に入りの音をみつけよう」を実施し、自分のまわりの音に耳を傾け、自分のお気に入りの音発表を行った。様々な音に囲まれていることを認識できる機会となった。

◆研究業績書

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	『幼小接続を考察する 幼児 の音楽表現ーわらべ歌・童謡・ 唱歌を基軸に』	単	平成 29 年 10 月	「児童教育論集」 第1 号 名古屋女子大学 文学部児童教育学科 編 (9ページ)	自由投稿論文 (pp:217~225) (9 頁)
	『幼児の表現領域における総 合的な活動ーオペレッタの可 能性を考察するー』	単	平成 30 年 2 月	「教育・保育のモノグ ラフ 2 学びの循環」 三恵社 (10ページ)	自由投稿論文 (pp:150~159) (10 頁)
	『鑑賞授業におけるライブ性 を考える 表現活動への繋が りー実践からの考察ー』	単	平成 30 年 3 月	名古屋女子大学紀要 第64号 (12ページ)	人文・社会編 (pp:179~190) (12 頁)
	『音楽科・表現領域における インクルーシブ教育のー考 察』	単	平成 30 年 12 月	児童教育論集 第2号 平成30年度	第 2 部教科教育編 (pp:38~45) (8 頁)
	『音楽鑑賞と表現活動におけ るー考察』	単	平成 31 年 3 月	名古屋女子大学紀要 第65号	人文・社会編 (pp:359~372) (14 頁)
	『鑑賞教材における音楽的要 素・イメージを観点としたー 考察』	単	令和 2 年 3 月	名古屋女子大学紀要 第66号	人文・社会編 (pp:213-224) (12 頁)
	『鑑賞と表現を関連付けた実 践と考察』	単	令和 3 年 1 月	児童教育論集 第4号 令和2年度	第 1 部教科教育編 (pp:46-55) (10 頁)
	『小学校第 1 学年音楽科教材 から読み解く、幼小接続のー 考察』	単	令和 3 年 3 月	名古屋女子大学紀要 第67号	人文・社会編 (pp:107-120) (14 頁)
『幼児の音楽感受と身体表 現』	共	令和 3 年 7 月	総合科学研究所 『総合科学研究 第 1 5 号』	平成31年度プロジェクト研 究 著者:坪井眞里子、眞崎雅子、 伊藤充子 執筆箇所:坪井1, 2 (1) (2) (3) (4) I (6) , 3 (2) , 4	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	『小学校音楽科における「ど のように学ぶか」に関する考 察—音楽教育概観と学ぶ過程 —』	単	令和4年3 月	名古屋女子大学紀要 第68号	(6頁/10頁) 眞崎1, 2 (4) ②③④ (5), 3 (1) (3), 4 (pp:15-25) 11頁 人文・社会編 (pp:125-138) (14頁)
著 書	名古屋女子大学文学部児童教 育学科編『教職・保育職シリー ズ3 あたらしい教育をめざし て』	共	平成29年 2月	三恵社	第2部「各学校段階、各教科に おける改訂の具体的な方向 性」についての解説 第5章「初等教育・音楽科のよ りよい授業を考える—学習が 深まった子供の姿を描く—」 pp:93-104
	教員免許状更新講習の理解を 深めるための「教育・保育の論 点ガイドNo.2」名古屋女子大学 文学部児童教育学科編	共	平成29年7 月	三恵社	第2章第10節「共通事項の理 解に繋がる—表現活動として のボディパーカッション」 Pp:115-120
	教職・保育職シリーズ4 「教育・ 保育の学び プラス・ワン」名古 屋女子大学文学部児童教育学 科編	共	平成29年 12月	三恵社	第2部第6章「唱歌・童謡の歴 史的背景—情操教育の始ま り」pp:49-54
	「豊かな情操を育む音楽表現と 音楽教育のために～基礎的な 知識・技能とその指導法～」 名古屋女子大学音楽研究会編	共	平成30年1 月	鳴海出版	第2部第4章 表現技術第3節リ ズム遊び(音楽づくり)『表現活 動としてのリズム遊び—幼小接 続を踏まえて』(pp:141-147)
	「教職・保育職シリーズ5 教育・ 保育の新視点」名古屋女子大学 文学部児童教育学科編	共	平成30年3 月	三恵社	第2部第6章 『知覚と感受の関連性—「鑑賞 教室と表現活動授業の連続性 における心理的側面に着目し たプロセス研究」の一環として —』(pp:111-120)
	「シリーズ教育・保育の論点 教授法と子ども理解」	共	令和元年7 月	三恵社	第2部 小学校・中学校におけ る教科の指導法 第9章「音楽科におけるインク ルーシブ教育を考える」 (pp:105-112) 8頁

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	「シリーズ教育・保育の論点 理論と実践」	共	令和2年8月	三恵社	第2部 小学校・中学校における指導法)第6章「子ども音楽感受に基づいた、身体的動作と表現—幼小接続の観点から」(pp:83-90)8頁
	『鑑賞授業におけるライブ性を考察する—表現活動との関連性を視野に一』	単	平成30年6月10日	日本音楽表現学会	広島文化学園大学
	『鑑賞授業におけるライブ性を考察する—表現活動との関連性を視野に一』	単	平成30年12月	日本音楽表現学会 『音楽表現学 vol.16』	(pp:115)
	「幼児の音楽感受と身体表現」中間報告	共	令和2年5月	名古屋女子大学総合科学研究所	「総合科学研究 第14号」プロジェクト研究中間報告「幼児の音楽感受と身体表現」坪井眞里子・眞崎雅子・伊藤充子 (pp:141-142)分担1.2.3.5 2頁
	『シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び』	共	令和3年7月	三恵社	教員免許状更新講習に関わる教材としてのテキスト(担当箇所)「音楽感受と表現—幼小接続を考える」小学校第1学年での音楽の捉え方を視野にいれ、音楽表現の接続に必要な観点を検証した。坪井眞里子 (pp:113~120)8頁
	『幼児の音楽感受と身体表現』	共	令和3年11月	日本音楽表現学会 『音楽表現学Vol.19』	著者:坪井眞里子、眞崎雅子、伊藤充子 分担執筆坪井 pp150-151
演奏会 研究発表	葉月のコンサート Max.レーガー作曲「マリアの子守歌」F・メンデルスゾーン作曲 オラトリオ「Pauls」より	単	平成29年8月	松山市民会館中ホール	ピアノ 山口 佳代
	ゼンガーフェラインコンサート2017W. A. モーツァルト作曲 「フィガロの結婚」より第3幕伯爵夫人のアリア	単	平成29年11月	東京オペラシティ リサイタルホール	ピアノ 森山 伸
演奏会	「日本のうた鑑賞教室」	単	平成30年2月6日	松山市立素鷲小学校 音楽室	ピアノ 福富 彩子

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
研究発 表	教育学部特音創立 60 周年記念 演奏会 H・Wolf「夜の魔法」 R・Strauss「眠りにつこうとし て」四つの最後の歌より	単	平成30年8 月 18 日	愛媛大学教育学部特 音・音文創立 60 周年記 念演奏会松山市民会館 中ホール	ピアノ 山崎 悦子
	葉月のコンサート W・A・Mozart「フィガロの結婚」 から第 3 幕から 「手紙の 2 重唱」 伯爵夫人のアリア「楽しい思 い出はどこへ」	単	平成30年8 月 23 日	葉月のコンサート 第 5 回記念 松山市民会館中ホール	ピアノ 山口 佳代
	ゼンガーフェラインコンサ ート 2018 J・S・Bach「マタイ受難曲」第 48 曲・第 49 曲「愛ゆえにわが 救い主は死に給う」	単	平成 30 年 11 月 28 日	ゼンガーフェラインコン サート 2018 東京オペラ シティ リサイタルホー ル	ピアノ 森山 伸
	鑑賞教室「世界の歌・日本の歌 鑑賞教室」	単	平成31年1 月 29 日	松山市立素鷲小学校 音楽室	ピアノ 山崎 悦子
	瑞穂区まちかどコンサート 多忠亮「宵待草」 G・Puccini「私のお父さん」	共	平成31年2 月 14 日	瑞穂区まちかどコンサ ート越原記念館ホール	ピアノ 伊藤 充子
	愛知日本歌曲研究会第二回演 奏会「橋本國彦と同時代の作 曲家たち」 「巴里の雪」「お菓子と娘」 「浜辺の歌」「宵待草」	単	平成31年2 月 16 日	「橋本國彦と同時代の作 曲家たち」 電気文化会館ザ・コンサ ートホール	ピアノ 手嶋 麻利
	鑑賞教室「世界の歌鑑賞教室」	単	平成31年2 月 27 日	松山市立素鷲小学校音 楽室	ピアノ 福富 彩子
	「はるにうたう親子コンサ ート」 「早春賦」「さくらさくら」 「春の小川」「朧月夜」全体解 説	共	平成31年3 月 3 日	「はるにうたう親子コンサ ート」瑞穂文化小劇場ホ ール	ピアノ 伊藤 充子 二重唱 谷田 育代 音楽ゼミナール

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
演奏会 研究発表	「小さい秋見つけたコンサート」	単	令和元年 10月29日	七宝幼稚園	ピアノ 伊藤充子
	「小さい秋見つけたコンサート」		令和元年 10月29日	おひさまこどもえん	ピアノ 伊藤充子
	「ゼンガーフェラインコンサート2019」	単	令和元年 11月26日	東京オペラシティ リサイタルホール	ピアノ 森山 伸
	鑑賞教室 素鷲小学校研究発表	単	令和2年2 月18日	素鷲小学校	ピアノ 福富彩子 山崎悦子
	「ゼンガーフェラインコンサート2020」 G.Mahler「リュッケルト歌曲」より	単	令和2年11 月25日	東京オペラシティ リサイタルホール	ピアノ 森山 伸
	「みんなで楽しむコンサート」	共	令和3年2 月3日	名古屋市昭和文化小劇場	ピアノ 伊藤 充子 音楽・教育・表現ゼミ
	パイプオルガン ブランチコンサート サン＝サーンス、そしてパリの響き	共	令和3年8 月	愛知県芸術劇場コンサートホール	オルガン 吉田 文
名古屋オルガンの秋 宗教的協奏曲	共	令和3年10 月	五反城教会 ネット配信	オルガン 吉田 文	
教育現場での 実務、 実践 地域連携	名古屋土曜学習プログラム	単	平成30年 1月20日	名古屋市立豊岡小学校 (身体は楽器！ミュージカルを歌おう！)実施	
	松山市立素鷲小学校 音楽授業講師	単	平成30年 2月6日	鑑賞授業「日本の歌曲鑑賞教室」	第5学年、第6学年授業
	名古屋土曜学習プログラム講師	単	平成30年 11月17日	名古屋市立二城小学校 で土曜授業(身体は楽器！ミュージカルを歌おう！)実施	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
教育現場での 実務、 実践 地域連 携活動	名古屋土曜学習プログラム講師	単	平成 30 年 12 月 8 日	名古屋立川中小学校	
	松山市立素鷲小学校 音楽授業 講師	単	平成31年1 月 29 日	鑑賞教室「世界の歌・日 本の歌鑑賞教室」	第4 学年授業
	松山市立素鷲小学校 音楽授業 講師	単	平成31年2 月 27 日	鑑賞教室「世界の歌鑑 賞教室」	第6 学年授業
	「子どもの情操を育む歌の世界」講演会	単	令和元年 7 月 1 日	名古屋女子大学附属幼 稚園	うたとおはなし
	同朋高校 模擬授業	単	令 和 元 年 10 月 24 日	「幼児期における音楽 感受と表現領域」	
	「小さい秋見つけたコンサート」	単	令 和 元 年 10 月 29 日	七宝幼稚園	ピアノ 伊藤充子
	「小さい秋見つけたコンサート」	単	令 和 元 年 10 月 29 日	おひさまこども園	ピアノ 伊藤充子
	名古屋土曜学習プログラム講師	単	令 和 元 年 10 月 26 日	名古屋市立伝馬小学校 「リズムで遊ぼう」音 楽づくり体験学習	
	松山市立素鷲小学校 音楽授業 講師	単	令和 2 年 2 月 18 日	「鑑賞と表現活動」待ち ぼうけ」を題材に鑑賞と 歌唱表現活動	第5 学年の授業
	名古屋土曜学習プログラム	単	令和 3 年 1 月	おうちで土曜学習「ドレ ミを体で表そう～ボディ パーカッション～」	名古屋市教育委員会生涯学習 課 YouTube にて公開
教員研修会 「小学校 音楽科 第1 学年の 導入について 幼小接続の視 点」	単	令和 3 年 6 月	名古屋女子大学附属幼 稚園教員研修会	解説と音楽活動	
プレスクール音楽あそび「ハイ キングにいこう」	単	令和 3 年 6 月	名古屋女子大学附属幼 稚園プレスクール	音楽あそび	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
教育現 場での 実務、 実践 地域連 携活動	子育て講演会 「心と身体を育てる音楽表現」	単	令和3年7 月	名古屋女子大学附属幼 稚園	お話と音楽あそび
	お月見コンサート	共	令和3年10 月	名古屋女子大学附属幼 稚園お月見プロジェクト	ピアノ 伊藤 充子
	名古屋土曜学習プログラム	単	令和3年12 月	「ドレミパイプで音楽を つくろう』音楽づくり体験 学習」	名古屋市立自由が丘小学校
	尾張旭市 子育て広場	単	令和3年12 月	子育て広場「クリスマス コンサート」	尾張旭市保健福祉センター